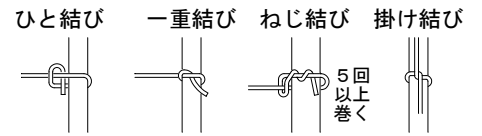


ロープの結び方の戸の口



ロープを使う人と言えば ①登山家 ②漁師 ③消防士 が御三家でしょうか。
ところが、彼等に劣らずロープを使っている人たちがいました。
「アーボリスト」日本語では「空師」と呼ばれる人たちです。
巨木に登って、枝を下したり、伐採したりする人たちです。
ツリーイングの元となった人たちです。

ロープの3大仕事

- ① 結ぶ 索端を立ち木等に
- ② 縛る 両端を
- ③ 繋ぐ 他のロープと

ロープの結び方は2000種類程もあるそうです。
そのなかから、代表をひとつずつ選んでみました。
これだけ覚えていれば、たいていは間に合います。

さらに丈夫にするためには

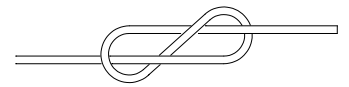
- 「巻き」を増やし、
- 「ふた結び」で補強し、
- 「8の字結び」で抜け防止する。

結びに必要な3条件

- ① 結びやすい。
- ② ほどけない。
- ③ ほどきやすい。

1 ロープにこぶを作る

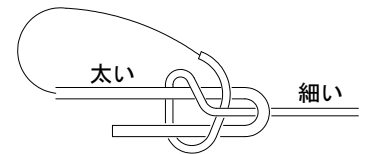
すべり止めや抜け止めのため、こぶを作りたい時は、**フィギュア・エイト・ノット**を行います。
「止め結び」別名「一重結び」もありますが、ほどくのに苦労します。
オーバーハンド・ノット



2 ロープとロープをつなぐ

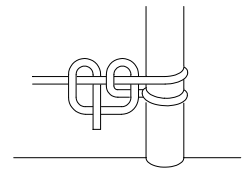
太さの異なるロープでもつなぐことができる「**シート・ベンド**」が代表です。
ダブル・シート・ベンド
巻を2回にした「ふたえつなぎ」はさらに丈夫です。
トリプル・シート・ベンド
巻を3回にした「みえつなぎ」はさらにさらに丈夫です。
シート・ベンド **ポーライン・ノット**
実は「ひとえつなぎ」は「もやい結び」と同じ結び目です。

もやい結びの場合は輪ができる。



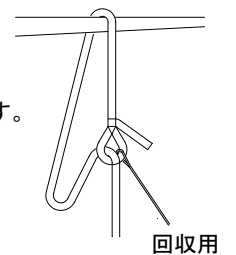
3 ロープを立ち木に結ぶ

「巻き結び」よりも丈夫だそうです。
ラウンドターン・アンド・ツー・ハーフ・ヒッチ
「ふた回りふた結び」が簡単ながら丈夫であり、消防でも使用しています。
ツー・ハーフ・ヒッチ **クローブ・ヒッチ**
「ふた結び」の部分は「巻結び」になります。
「3回り3結び」はもっと丈夫と思うのですが、そのような結びは無いようです。
巻を増やしても、これ以上強くはならないということなのでしょう。



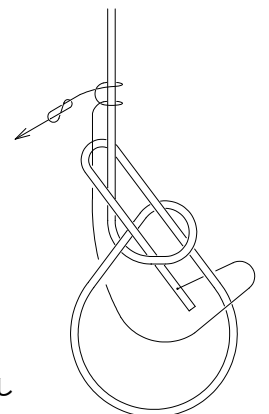
4 ロープを高い枝に掛ける

梯子でも届かない高い枝にロープを結ぶ場合は、まず枝にロープを投げて逆Uの字に掛けます。
ポーライン・ノット
片方の索端に「もやい結び」で輪を作り、もう一方の索端をその輪の中を通し、輪を引き上げます。
ランニング・ポーライン
ようするに「ワナもやい結び」にするとということです。
なお、輪に別のロープを結んでおかないと、回収できなくなってしまいます。



5 ロープを体に結ぶ

「もやい結び」が代表であり、3つのバリエーションがあります。
索端に1重の輪を作る場合は「**ポーライン・ノット**」を行います。 ———— 腰に掛ける
途中で2重の輪を作る場合は「**ダブル・ポーライン**」を行います。 ———— お尻と背中に
途中で3重の輪を作る場合は「**トリプル・ポーライン**」を行います。 ———— 左右の太ももと背中に
さらに、「**ダブル・ポーライン**」の变化形として、「**ポーライン・オン・ザ・バイト**」があります。



木登りに
使用します

ポーライン・ノット
「もやい結び」は単純であり早く結べるので、消防士が使用します。
ただし、結び目が小さく、ロープに負担がかかるので、
登山家は、「**フィギュア・エイト・ノット**」を使用するようです。

ポーライン・ノット
「もやい結び」は用途が多く、結びの王様と呼ばれています。
実は、片手でもできる結びです。

矢印の通り索端を
メインロープに沿って戻し
「ふた結び」で補強し
「8の字結び」で抜け止めすれば、かんぺき。

- 6 体を吊る
結び目は自由に動かすことが出来るのに、
体重をかけると動かないという結びに「ブレイクス Hitch」があります。

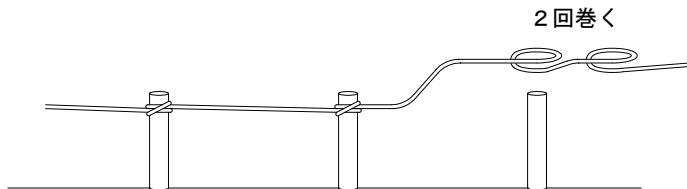
「3重もやい結び」で体を吊る

これで木に登ることが
できます。
詳細は別紙

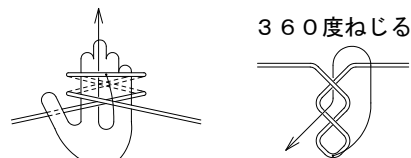
- 7 スリングで足場を作る
結び目は自由に動かすことが出来るのに、
体重をかけると動かないという結びに「ブルージック」があります。

足をかけて
立つ

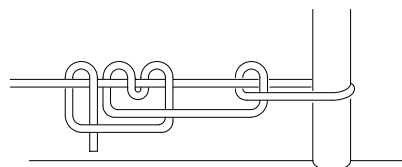
- 8 杭にロープを連続して張る
クローブ・ヒッチ
「巻き結び」があります。
とっくりに結べば「とっくり結び」と呼ばれます。



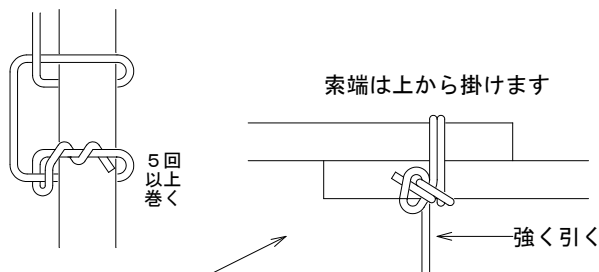
- 9 ロープの中間に輪をつくる
ボーライン・ノット、フィギュア・エイト・ノット、オーバーハンド・ノット
「もやい結び」「8の字結び」「止め結び」でもできますが、
専用の結び方として「蝶結び」があります。
結び方には2つの方法があります。
結びの女王と呼ばれます。



- 10 テントを張る
トートライン・ヒッチ
張り綱を、絞めたり緩めたりできる「自在結び」があります。
「掛け結び」をしたあと、「元に輪足しふた結び」で止めます。
「掛け結び」の回数を増やすと、丈夫になります。

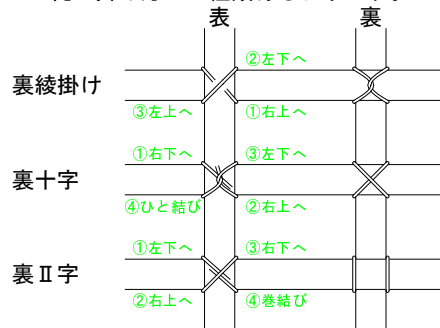


- 11 丸太を吊る
ログ・ヒッチ
「丸太結び」別名「引き綱結び」があります。
「掛け結び」をしたあと、「ねじ結び」で止めます。
「掛け結び」の回数を増やすと、丈夫になります。



- 12 丸太を縛る
丸太や植木を縛るには「男結び」別名「いぼ結び」を行います。
なお、この結びはほどくことが出来ません。
農家や植木屋が使用する、使い捨ての結びです。

「男結び」は垣根作りにも使用されます。
縄の掛け方は3種類あるようです。



- 13 トラックの荷を固定する
「南京結び」別名「トラック結び」。
多くの技の集合体であり、ここでは説明しきれません。

- 14 風呂敷や靴紐を結ぶ
誰でもが知っている普通の結び方ですが、名前も変形もたくさんあります。

- | | | |
|-----------|------------------------------|--|
| 「横結び」 | 「本結び」「真結び」「堅結び」「シート・ノット」 | シートを裂いてロープを作る時の結び方。
「止め結び」を追加し、抜け止めをする。 |
| 「片引き解き結び」 | 「片花結び」 | |
| 「両引き解き結び」 | 「花結び」「蝶々結び」 | |
| 「縦結び」 | 弱いので普通は使わない。横結びを間違えると出来てしまう。 | |
| 「外科結び」 | 1回目のループを2重にしたもの。ほどけにくい。 | |
| 「帯締め結び」 | 1回目も2回目も、ループを2重にしたもの。ほどけにくい。 | |